

前線性降雨における鹿野川ダム・野村ダムの洪水調節効果について

平成18年7月19日から、前線により鹿野川ダム流域平均総雨量261mm（時間最大18mm）・野村ダム流域平均総雨量302mm（時間最大26mm）の降雨があった。この洪水に対して、鹿野川ダム・野村ダムでは洪水調節を行い下流の水位低下を図った。

平成18年 7月21日
国土交通省山鳥坂ダム工事事務所
国土交通省野村ダム管理所

問い合わせ先

（鹿野川ダム）
国土交通省 山鳥坂ダム工事事務所
事業計画課
事業計画課長 / 大谷忠夫（内線531）
計画係長 / 笠井和夫（内線532）
TEL / 0893-34-2350

（野村ダム）
国土交通省 野村ダム管理所
管理所長 / 則 勢（内線201）
管理係長 / 岡田浩孝（内線332）
TEL / 0894-72-1211

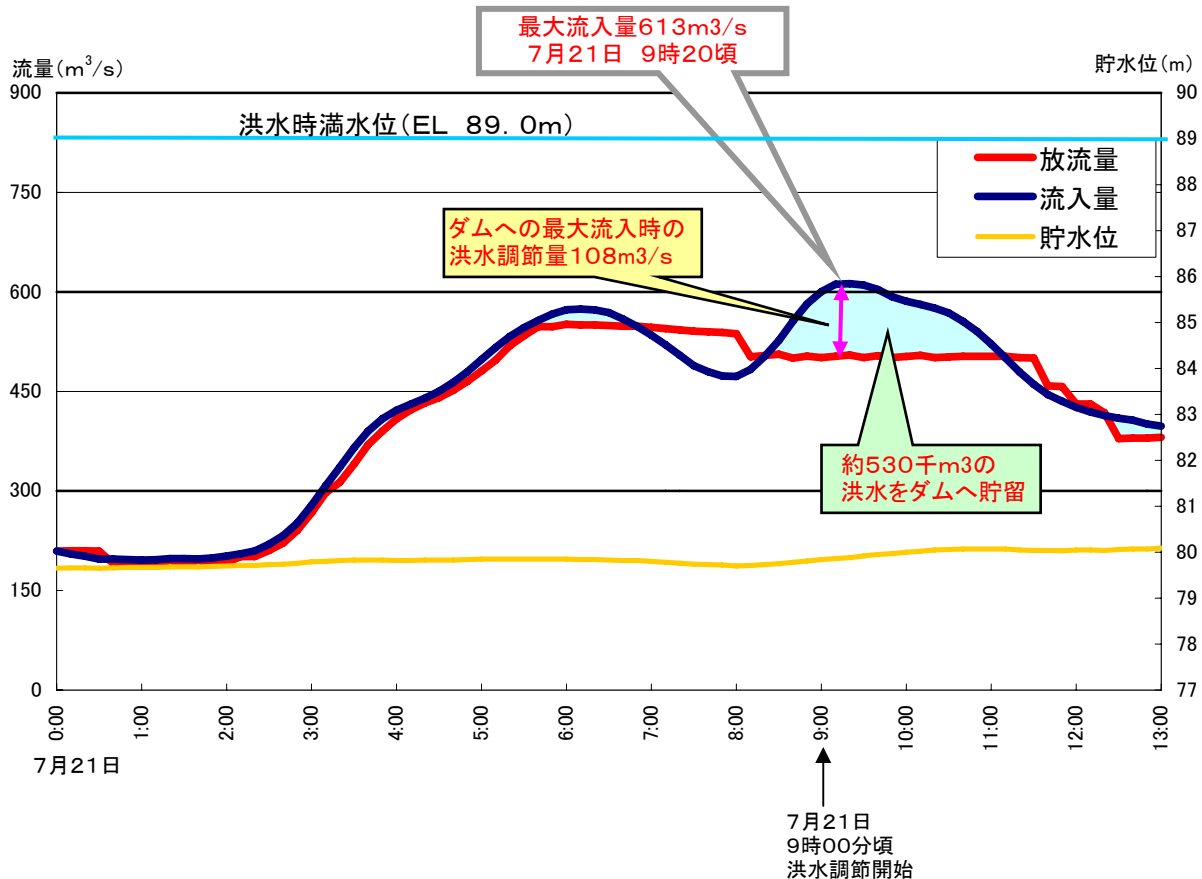
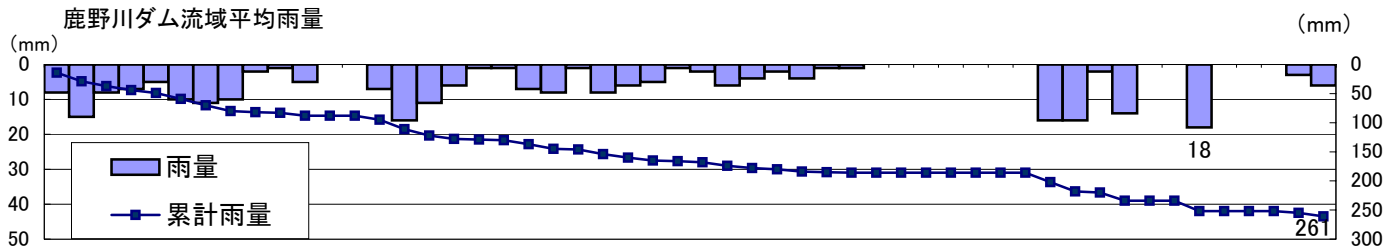
平成18年7月21日(前線)における鹿野川ダムの洪水調節状況

肱川水系肱川においては、鹿野川ダムで $108\text{m}^3/\text{s}$ (最大流入量 $613\text{m}^3/\text{s}$ →放流量 $505\text{m}^3/\text{s}$)を調節しており約530千 m^3 の洪水を貯留し、下流の水位低下に寄与した。

鹿野川ダム諸元(洪水期)

総貯水容量 : 48,200千 m^3
 洪水調節容量 : 6,500千 m^3
 発電容量 : 23,300千 m^3
 堆砂容量 : 12,000千 m^3

注)本資料に関する数値は速報値であるため、精査の結果変更もあり得ます。



平成18年7月21日(前線)における野村ダムの洪水調節状況

肱川水系肱川においては、野村ダムで $13\text{ m}^3/\text{s}$
 (最大流入量 $312\text{ m}^3/\text{s}$ 放流量 $299\text{ m}^3/\text{s}$)
 を調節しており、約 23 千m^3 の洪水を貯留し、
 下流の水位低下に寄与した。

野村ダム諸元(洪水期)
 総貯水容量 : $16,000\text{ 千m}^3$
 洪水調節容量 : $3,500\text{ 千m}^3$
 利水容量 : $9,200\text{ 千m}^3$
 堆砂容量 : $3,300\text{ 千m}^3$

注)本資料に関する数値は速報値であるため、精査の結果変更もあり得ます。

